

広報 いずみざき

村づくり五原則

- 一、皆んで手をつなぎ生きがいと幸せをつくらう。
- 一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
- 一、知性と教養を高め文化の営みをさかんになしう。
- 一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
- 一、皆んで心を合わせ平和で明るい郷土をつくらう。

昭和62年1月1日発行

(第234号)

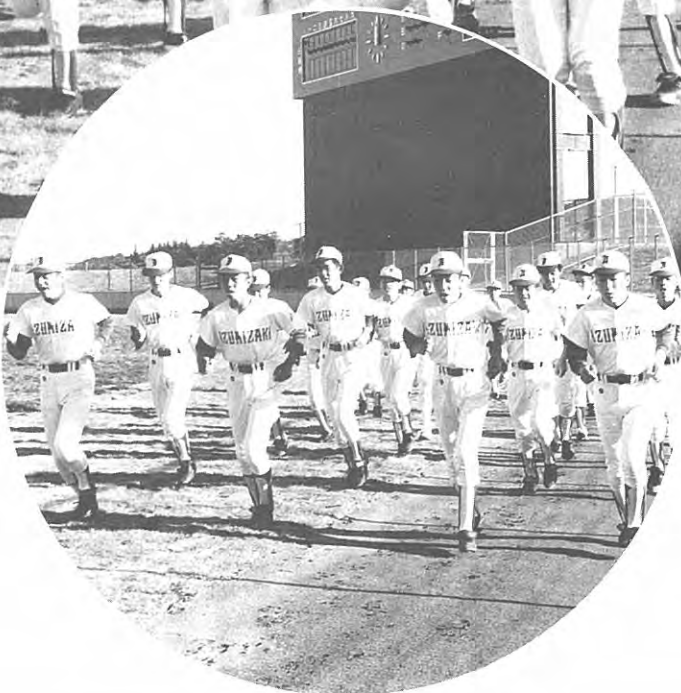
編集・泉崎村役場総務課

印刷・野木印刷所

ダッシュ



(寒風について練習に励む泉崎中学校野球部
：さつき公園野球場)



1月号

〈村のうごき〉 (今月12月1日現在)
(先月11月1日現在)

男
2,971人(+16)
2,955人

女
3,053人(+7)
3,046人

世帯数
1,314戸(+8)
1,306戸

合計
6,024
6,001

新年あけまして

おめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。

東の空に昭和六十二年の黎明を覚え、輝く初陽を仰ぐことができましたことは村民の皆さまとともに誠にめでたく心から新年のお祝いを申し上げます。

本年もまた村民の皆さまにとりまして幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。

年々皆さまのお力をいただき泉崎村も期待の躍進を続けております。一重に村民の皆さまの村政に対するご貢献、ご協力の賜であると存じ心からお礼申し上げます。

村が発展するために拓く課題は次々に現われます。これを克服するための努力と協調は村民の力があつてこそと考えております。



海上博之

泉崎村長

昭和六十二年 元旦

昭和六十二年も皆さまの変らぬ大きなご協力をお願いするとともに向う一年の間に更に大きな幸せとご健勝がありますことをお祈りいたします。
(年頭の所感を次に申しのべます。)

農業を見つめて

農家の皆さんには昨年の農業は全体的によい気象に恵まれますまずの成績で終ることができ深く喜びとするところです。年頭にあたり新しい年も昨年同様のよき農業の年でありますようお願い申し上げます。

しかし農業に迫る状況については誠に厳しいものがあり農産物の貿易のほとんど全面に及ぶ自由化が進められ頼みの綱とされる米の自由化に迫る海外とくにアメリカからの攻勢をうけている日本の農業は前途に強い懸念をいだかざるを得ないものがあります。

豊富な食物、消費の質的な変化は一層農産物への需要を後退させている状況にあります。遠からず頼みとしてきた食管制そのものの崩壊を覚悟をしなければならぬ状況にありますことは皆さまご承知のとおりです。

私はこうした状況をふまえた地方行政の中で何をなすべきかの立場から泉崎村で何ができるかを追求し取り組まなければならないと考えております。

水田再編対策事業としていままではと麦の栽培を奨励しご協力をお願いしてきたところですがおかげさまで昨年の作付は二〇ヘクタールに及び大きな成果を上げました。真空パック、ティーパック、缶入スタイルと付加価値商品として流通に乗せましたが大変好評で新しい年においてもはと麦生産に大いに期待できる見通しです。

「グリーンアスパラ」

グリーンアスパラガスにつきましても昨年は促成栽培第一号として初出荷ができました。これも大変好評を得ることができ喜んでおります。今年のはと麦、アスパラガスともに増反を目指し稲の減反に備えたいと考えております。首都圏商品の名柄を得るにはもっと量的なまとまりを必要としますので、白河農協と手を



(好評：各種はと麦茶)

たずさえ広域的取り組みへと発展させなければなりません。

「集団化」

今年度の農業再編いわゆるポスト第三期といわれる米の減反は水田面積の四分の一(二十五%)を覚悟しなければならぬことを思うと皆さんとともに嘆きから打開への力をつくつておかなければならぬと考えます。転作を効果あらしめるためには、集団化を進めアスパラガスは条件の良い水田に、はと麦は湿地でも耐えられる水田にと水稻水利を含めて考えると集団化を進める必要があると思います。この面からも暗きよ排水、客土など土地改良区に

お願いし土地総合整備事業を進めたいと思います。

農村近代化と工業

泉崎村の近代化は工業生産とのかかわりで進めなければなりません。すなわに生産の高い二次産業の振興を通して雇用をはかり所得を高めなければなりません。雇用の長期定着が一方では農地流動を促がし本場の農業経営として規模拡大を可能にしていきます。これは専業農家の自立をはかり工業生産の増大がはかられてはじめて本村の所得を安定増進へと高めることができると考えるからです。

企業誘致

円高基調の中で工業の地



(視察団相つき来村：説明する村長)

方進出が低迷している六十一年度でありましたが泉崎村は朝日ラバー、鈴美精工の入村に加え二社が決定、現在交渉中を含めて七社の入村をはかり得る状況にありますことは極めて望ましいことと考えております。

農業対策のため工業生産を考えることは全体政策の中で所得物理上今後当分は進めていかなければなりません。緑を失なわないつまり新しい緑を十分配慮する中で政策を進めていく所存であります。

国際交流の推進

昨年は泉崎中学校が国際交流指定校として大変なご努力を願ひ中学生に海外のお友達や先生とのふれあいはかっていたきました。今年には村が主体になり国際交流を進めていきたいと考えております。

日本はいま世界の中に体ごと入っていくムードをつくらなければ世界からの真の理解を得ることはできません。いま、政府だけでは

く個人も団体も地方自治体もこうした気運の中で交流が進められていることはご承知のとおりであります。私私はこうした立場から一層の交流の気運を高めていきたいと考えております。

このため専任教師を手配し、海外の姉妹都市提携の具体化を進めることを考えております。さらに役場職員の年間通しての海外（アメリカ）派遣を試み欧米のロングステイを通して真の理解と協調を進め、将来の国際理解を進めたいと考えております。

福島国体にそなえて

昭和七十年には福島国体を実施され、福島県の意気と力を全国に響かすことと思われませんが私は泉崎村の名において是非この競技種目の会場に立候補したいと考えております。今まで整備した運動施設を通して、更に今後整備を計りながら向う十年間をこれにあて、野球、自転車競技の参加を実現したいと望んでおります。

六十二年のとりくみ

す。福島県が国体の会場をもてるのは四十数年に一度しかありません。この機会に我村が参加できる光栄を得たいと考えるのは私一人ではないと思います。村の勢いを天下に示す絶好のチャンスでもあります。参加できる夢を持ち参加への意欲と方向をかためる第一年にしたいと考えております。

県内でも最大級の規模をもつカントリーパーク事業、農村総合整備事業（農道、集落道、農排水路等の舗装）等は計画にしたがい完成を目指して進めることは従来どおりであります。また農村下水道（農村集排水）第一期計画が終る年にあたります。新規の計画をふまえて第二期に結びたいと考えております。

工業団地の造成につきましては誘致企業の具体化と合せペース化をはかっています。本村の長期計画通り努力して参ります。また今年には雇用促進住宅の実現に向け

て努力し勤労者の住宅政策を進めていきたいと思ひます。さらに農業基本政策として国営農地総合開発事業（踏瀬地区）、土地総合整備事業（下町尻・一枚橋地区）を実施し水田の条件整備を進め今後の水田再編に備えて参りたい所存です。病害虫防除につきましても村民の皆さまの絶大なるご協力のもとに実施して参りましたが、今年も従来同様その成果を望み三回実施態勢を進めていくつもりであります。

以上年の始めにあたり私の所感を述べさせていただきます。



(村づくり構想を練る：村長)



議 長 熊田 直輝

謹んで新年を寿ぎ申し上げます。新年にあたり議会を代表しごあいさつを申し上げます。

いま泉崎村は総力をあげて未来づくりにとりくんでおります。議会議員の皆さんも各自その立場を通して村づくりのために全力をつくしております。今年も村民の皆様



名 誉 村 民 渡 辺 西 蔵

泉崎村民の皆様、明けましておめでとうございます。

本年も、平和裡に静かな新年を迎えました。しかし、産業経済に国境がなくなり、社会生活に大きな変動をもたらしている激変の時代でもあります。

小さな変化を鋭敏にとらえて、大きなトレンドを読みとる必要が

さんといっしょに村が進む新しい世紀に向けての基礎づくりに進進するつもりであります。泉崎村はいま各界から注目を浴びております。

その名に恥じない村になりたいと思いますし、またその名に恥じない村にしなければならぬと思います。

躍進は福祉をつくるステップであります。議会一同村長ともどもたつて村づくりに力をいたすことをお誓い申し上げ年頭のごあいさつといたします。

あります。

幸い、当村の海上村長は、未来をみつめ、小さな変化を読みとり、普遍性ある対応によって、十年前に、二十年遅れていると云われた泉崎村を、十年先を歩む村にしました。このように立派な村長を選んだ村民の叡智こそ、激動のなかで、泉崎村を更に発展させ、豊かにするものの礎と心豊かにしております。昨年、老人ホームとゴルフ場を建設し、名誉村民の栄に浴しました。村民はじめ、議会、村長の暖かい御配慮に感謝致します。



助 役 中野目辰善

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって幸せ多い年になりますよう心からお祈りいたします。

毎日村民の皆様のご協力に感謝しながら村づくりに走っておりますが、日に日に泉崎村が前に進んでおりますことを思うと、ことさら皆様の村づくりに寄せていただいておりますお力の大きいことを



収 入 役 佐々木一恵

新年おめでとうございます。

謹んで村民の皆様方の御健勝をお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと円高による日本全体の景気の変動により輸出あるいは国内産業の不振、又台風による集中豪雨によって災

ひしひしと感じます。皆んなで村づくり、それは素晴らしい価値のあるものだと考えます。「人間は一本の葦にすぎない。自然のうちで最も弱いものである。だがそれは考える葦である。」このパスカルのことばのように考えて行動すれば成功への道はあると信じます。一人ひとり弱くとも皆んなで力を合わせれば強く大きな力を出していけるものだと思います。

転換をなし遂げようとする歴史的な事業を、また、いまだなければできない未来さきどりの大事業を皆んなで皆んなのために実現していただきたいと思ひます。

害の発生等色々悪条件の中であつても我が村におきましては村民皆様方の協力を得まして飛躍的な発展をとげております。企業の誘致はもちろん中学校の移転を初めとして、下水道の整備等村づくりの諸政策も順調に進んでおります。今後二十一世紀に向けての村づくりのための投資、あるいは行政改革による節約にと調和のとれた村づくりに邁進しなければならぬ重大な時期でもあります。村長を中心にして村民皆様方の期待にこたえるよう今年も頑張るつもりです。



教育委員長
箭内 正次

新年おめでとうござい
す。

昨年は本村の学校教育や
社会教育、そしてスポー
ツや文化の面で大いに発展を
とげた年でありました。

又、本年は、中学校の校
舎移転改築など教育環境の
整備充実がなされる年であ
りまして、まことに喜ばし
いかぎりであります。これ
らの教育条件の整備は、す
べて心豊かな、人間の育成
を目ざすものでありまして、
今後もしつそう環境の人間
化を図りながら、家庭の教
育力を高め、学校教育、社
会教育の連携を深めていか
なければならぬと考えて
いるところです。

新年にあたり皆様の御多
幸をお祈り申し上げ、年頭
のごあいさつと致します。



教育長
木野内重三郎

新年おめでとうござい
す。

皆様には、御家族おそろ
いで、さわやかな新春をお
迎えのことと、心からお喜
び申し上げますとともに、
日頃教育にお寄せいただい
ておりますご理解とご協力
に對しまして、心からの感謝
を申し上げますと思います。
さて、平穩な時の刻みで
はありますが、社会の変化
には激しいものがあります。
教育の領域もその渦中にあ



泉崎第1小学校長
橋間 博

明けまして、おめでとう
ございます。

昨年度は村長さん、議長
さん、教育長さんはじめ、
皆様方から心暖まるご援
助を賜わり、誠に有難うご
ざいました。おかげさまで
西白河地区水泳記録会、読
書感想文コンクールをはじ

るわけですが、村民
各位の温かいご支援により、
渦に翻弄されることなく、
正しい操舵の責を果したい
考えであります。

又、本年は中学校の新校
舎移転の年でもあります。
体育館は六十三年度落成と
なるものの、村の教育のセ
ンターとして、又象徴とし
てもそれにふさわしい殿堂
として、完成することにな
ります。これを機として、
教育諸条件の整備と内容の
充実と努力をすべく、誓い
を新たにしているところで
あります。

今年も変わらぬ各位のご
協力をお願い申し上げます。
め各種競技会や展覧会等で
「泉崎旋風」を巻き起こし
た程の好成績をあげること
ができました。

今年は、幼・小・中学校の連
携を更に強め、家庭、地域の
方々のご協力をいただき、泉
崎村の子ども達の健全な成
長を願って努力邁進致す所
存でありますので尚一層の
ご支援をお願い申し上げます。
泉崎村及び各ご家庭ご一
同様の益々のご繁栄、ご発
展をお祈り申し上げます。



泉崎第2小学校長
松井幸三郎

新しい年を迎え、昭和六
十二年の学校教育の目標は、

と、問われれば、まよわず、
「一人一人の子供に、学年
相応の知識を身につけてや
ることです。」と、答えます。

知識などというと、知識偏
重とか、詰め込みとか、時
代に合わないようになられ
がちです。しかし、地域性
から考えても、また、思考
力を育てるにも、創造性を
高めるにも、判断力を養な
うにも、知識を豊かにする
ことがその基本であると思
います。そして、目標達成
のためには、私達が一人一
人の子供をしつかり見つめ、
深い愛情と情熱を持って根
気よく指導していかねばと
考えます。今年、厳しく
自分に問いかけながら、着
実な実践を積み重ねていく
年にしたいと思ひます。



泉崎中学校長
佐藤 雄喜

あけましておめでとうご
ざいます。昨年は、国際交
流研究校の研究公開をはじ
め多面にわたり、村当局を
はじめ、関係者各位並びに地
域の皆様方の御協力を賜わ
りましてありがとうございました。おかげ様で研究公
開では、北海道からの校長
先生をはじめたくさんの方の先
生方をお招きし盛會に初期
の目的をはたすことができました。研究会で得た成果
と反省をふまえ、今後も継
続研究をして参りたく考え
ております。

年頭にあたり、川上哲治
氏のプロの道「プロになる
者はその道で二倍勉強し、
二倍努力し、二倍考える。」を
肝に銘じ、教師の道もプロで
あることの決意を新たにし、
地域から信頼される学校経
営にあたりていく所存です
ので、皆様方の変えられぬ御
協力をお願い申し上げます。
年頭のごあいさつといたします。



消防団長
鈴木 寛

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

昭和六十一年において忘れることのできない災害として、台風十号による八・五集中豪雨があります。

午前四時非常招集に始まり豪雨の中、消防団員の水防活動が開始されました。

この豪雨で消防団員は本当に良く活動してくれました。心より感謝致します。

火災は予防消防が大事であり、風水害は、常日頃の点検及び訓練が大切であると思います。今後共、消防団は村民の生命・財産を守るため、更に努力を重ねてまいりますので、村民の皆様のお一層のご協力をお願い致します。

終りに村民の皆様のご健康とご多幸を祈念申しあげ新年のあいさつとします。



老人クラブ連合会長
穂積 政治

明けましておめでとうございませう。

昭和四十年に我が泉崎老人クラブ連合会が結成されて以来村行政当局や福祉事務所の指導を受ける様になりました。満二十二年になり御蔭様で現在では加入者七九九名、加入率八十一%で県下第六位の好成績を挙げております。

急速に進展する高齢化社会に対応して老後の生活の健全で豊かな、いわゆる健康で倅せな生甲斐のあるよりよい老人クラブを私達老人一同心機一転これを作る所存でありますので今後共尚一増の皆様方の暖いお支援を賜ります様御願い致します。年頭のごあいさつと致します。



婦人団体連絡協議会
副会長 本柳百合子

輝やかしき年頭に当り抱負の一端を述べる機会を得たことを喜んでおります。

第一に内容豊かな村づくりをといふことです。村のすみずみに文化の香りを感ずる村づくりを。

第二に婦人が学習すること、学習の場を作つても集まつてもらえないことが悩みです。主体的学習を合言葉にがんばりましょう。

第三に主婦は一家の担い手であれといふことです。

一家の健康、食生活の管理育児子供の心境をすばやく見ぬくことは女の特権です。夫が心やすらむ家庭子供が何でも相談できる母親になれるようがんばりましょう。

今年卯年愛きょうがあり福徳円満な一家を支える明るい主婦であれと祈念いたします。



母の会々長
菊地美津子

児童生徒や高令者を交通事故から守る母の会の存在は大きく期待されております。母親達による家庭教育こそ最後に残された安全対策に一番効果的な方法だと思います。と同時に交通安全の輪を地域に広げて母の会の力を結集し事故のない明るい村作りに努めようではありませんか。



青年会長
中野目正明

新年明けましておめでとうございませう。

昨年中は、青年会に、いろいろと御協力下さいまして、ありがとうございます。おかげ様で、昨年は県の体育大会において、初出場の野球が第三位という成績をおさめることができました。又、村民体育祭、鳥峠清掃などにおいても、御

交通安全母の会の皆様方には日頃事故防止のために熱心に活動され感謝と敬意を表します。昨年は両母の会が統一し泉崎村交通安全母の会が発足致しました。統一に伴ない会に賛同する方々や全戸加入の支部も出る等母の会は増々大きくなりつつあります。年々増加する車社会の中で色々と御指導御支援をいただき心から感謝申し上げます。今年も相変らず協力のお願いを致しまして新年の御挨拶に変えさせていただきます。

協力をいただき、紙上ではありますが、お礼を申し上げます。さて、今日、青年会活動は、全般において、困難な場面に直面しております。我が青年会において、資金などその他の面においても同様であります。我々青年会は、団結して、がんばっていかうと会員一同思っております。年頭にあり、決意を新たに、今後の活動をおこなっていききたいと思っておりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



村立病院長
成沢 俊雄

新年あけましておめでとうございます。

急速に進む高令化社会、成人病の増大、今日の地域住民の健康をめぐる背景は大きく、急激に変化しつつあります。

私たち職員一同年頭にあたりまして「住民サイドに立った病院」患者の気持ちになった対応」を肝に銘じより一層村民の皆様と接して行きたいと思っております。



総務課長
田崎 文能

新年あけましておめでとうございます。昨年中は行革の進む厳しい財政状況の中で各種事業の推進に努めてまいりました。これ偏に村民皆様方の御理解ある御協力の賜として感謝を申し上げます。行革については多々御不満の声もあることは充分承知をいたしております。

本年の重点事業として成人病検診の推進事業の実施を図って行きたいと思っております。

将来の病院は病気を治すのではなく予防する時代に変わりつつあります。

健康な人も定期的に健康診断を受けるそして病院と行政(住民課)が一体となつて住民の健康管理を行うことが一番大事なことでないかと深く認識し職員一同皆様の健康管理、健康保持に最大の努力を傾ける所存です。本年も村民の皆様が健康で幸せな年でありましよう祈念いたします。

すが行革を進めることは誰の為でもなく一人一人の皆様方の為なのであります。これらを進めることによつて各種事業の推進と皆様方の福祉の向上に結びつくものであります。

今年も現在の社会情勢からして決つて、安易なものではないと思ひます。我々職員一同この荒波をクリアーし、皆様方のお役にたちたいと思ひます。今年も昨年同様村財政に御協力を御願ひ申し上げます。



中央公民館長
円谷 泰秋

村民の皆様、新年おめでとうございます。

中央公民館が村民皆さんの学習の場所として昭和四十八年四月に開館してから十四年が経過し、今年は十五周年を迎えることになりました。

公民館を利用して学んだ人は数知れぬ程多数にのぼります。



泉崎幼稚園長
海上美津枝

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当りまして、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、このたび、臨教審が、改善に関する基本的方向を「中間まとめ」として発表致しましたが、この中

ると思いますが、まだ公民館を利用しない人もたくさんおります。

誰でも学べるようにいろいろな学級が開かれますし個人でも学べるようにたくさんさんの図書も備えてあります。今年もどうぞ公民館を利用して「学ぶ喜び」を味わってくださることを希望して止みません。

公民館の図書は県立図書館から二千冊の図書を借りて村民の皆さんに貸し出しをしておりますので、どう

で、幼稚園教育は、「将来を担う子どもの基礎的能力を育成しなければならない。」とし、特に「自己教育力のある子の育成」が重要であるとしました。「自己教育力」とは、自ら遊ぼうとする意欲を持ち、基本的生活習慣を身につけ、社会の変化に対応する力を身につけていくことであります。

幼児教育への関心と期待が一層深まりつつある現状を厳しく受けとめ、この「

ぞ御利用下さるようお願いいたします。

一カ月、一冊の本を読みましょう。活字ばなれは子どもの学力を低下させます。子どもの将来の為に本を読む親になつていただきたいと思ひます。



中間のまとめ」の中で求める「幼児像の実現」に向かって、全職員心をひきしめ、一歩一歩努力を重ねて参りたいと存じます。

尚一層の幼稚園教育に対する暖かいご理解とご指導をお願い申し上げます。



農業 頑張る



(泉崎農青連のみなさん)

村 おこし 若者に夢を：

なにかと元祖ばやりの昨今全国的に盛んな村おこしが行なわれています。

町づくりの元祖といえども大分県の大山町をあげねばなりません。「かねもない、暇もない、

希望もない。」といわれたこ

の山村で「ウメ、クリを植えてハワイに行こう」運動がはじめられたのは昭和三十六年のことでした。▲当

時ハワイははるかに遠く、あこがれの地だった。「若者を村に引留めやる気を起させるためには夢がなければと思った。」運動の提唱者で当時の大山村の村長矢幡治美さんの述懐です。▲大山

村でめざした農業は一つの作物がダメになっても他の作物が補うムカデ型です。

軽労働でしかも収益性の高い軽薄短小農業でした。ムカデの足は着実にふえ換金作物はエノキダケをはじめ六〇品種にのびりました。

▲狭い耕地の地形に適した農業への模索は国の方針に従わぬことでもあった。県から「独立国でないぞ」としかられたこともありまし

た。

▲農家の間にも田畑をつぶしウメやクリを植えることに抵抗がありました。

植えたウメが不良品だったり霜害でクリが芽をふかず運動が挫折しかかったこともありました。その危機を乗り越えられたのは優れた指導者がいて「夢」にかける若者たちがいたからでした。

▲農家一戸当りの平均年収六八〇万円、町民の三人に一人は外国経験者です。海外での農業研修に熱心で町内には何組かの外国人がいつもホームステイをしているという。

▲この六月、農協立の「ミニバツハホール」が完成し町営有線テレビも近く開局します。「町らしい農村」に残る若者は確実にふえ嫁不足もないといえます。バ

村政顧問会

イオ技術の導入、所得格差の解消、週休三日制の実現と新しい目標への挑戦が始まっています。▲「あの町には理想屋、ほら屋、夢屋があふれている」といった

人がいる大山四半世紀は村おこしとは人づくりであることを教えています。わが村でも若者に夢をあたえるような村おこしを実現したいものです。

去る十二月十日、泉崎村村政顧問会が開かれました。

つぶさに説明をされました。

この顧問会は歴代村長と議長でつくられているものです。村政のゆくえに大きな成果があるよういろいろと助言や希望など多角的な立場で話し合いが行なわれる会です。

当日の出席

村側三役及び、教育長・総務課長

会長 小針喜一郎氏

会員 田崎 一氏

〃 笠井 由春氏

〃 田崎 政美氏

〃 小越 俊雄氏

〃 態田 直輝氏

この日午前は村づくりの現場巡視を行ない、その概要をつかみ、午後母畑下の湯ホテルで計画書に基づいた現況と今後の方針など、村長から

視察団 ラッシュ

農業のきびしさも一層増したためか最近県内外から本村への視察者が多くなっています。

水田農業確立対策事業の骨格も明確になっていよいよ農業も新しい感覚で対応しなければならぬ時代になりました。訪れる視察者も真剣そのものです。私たちもまた教えられるところ

が大であります。

最近訪れた団体は次のとおりです。

*十月二十九日

田島町役場田島町農協

県田島農政事務所

県田島蚕業技術指導所

県田島農業改良普及町

高生産性農業形成センター

の取組みについて

*十一月十九日

埼玉県農政部

埼玉県農業会議

埼玉県農業改良普及所

埼玉県市町村

新農業構造改善事業の取組みについて

現地視察

・ライスセンター

・育苗センター

*十一月二十五日

福島県浜通り地方農業改良普及所(地域班長)

10名

高生産性農業形成センター

の取組みと村づくり

について

現地視察

・ハトムギ加工工場

*十二月二日

宮城県農業改良普及所

宮城県市町村

高生産性農業形成センター

の取組み、農地の流動化、村づくりについて

*十二月四日

会津若松市役所

・湊地区集落代表者

25名

新農業構造改善事業の取組みと村づくりについて

現地視察

・ライスセンター

・ハトムギ加工工場

*十二月五日

東白川地方農業生活改良推進員

25名

新しい村づくりについて

(中野目助役の講義)

県南地方生活改良普及員

村づくりについて

15名

(中野目助役の講義)

現地視察

・ハトムギ加工工場

*十二月八日

双葉郡大熊町農業生活改良推進員

20名



(熱心に研修する視察団の皆さん)

良推進員

村づくりとハトムギ栽培

について

現地視察

・ハトムギ加工工場



安全折りクワ入れ

鈴美精工(有)

泉崎第一工業団地内に進出の決定していた鈴美精工(有)(本社・横浜市、鈴木茂雄社長) 泉崎工場の起工式が去る十二月二日、現地(字上孤山十八)で行われました。来春の操業開始に向けてスタートを切りました。



国際交流

ホームステイ

インドネシアブルネイから

去る十一月二十二日から二十四日まで、村職員吉田佳儀さんの家に東南アジア青年の船で来日したイン

ドネシアのトトさんと、ブルネイのハリスさんの二人がホームステイをしました。

二十二日は吉田さん宅で吉田さんの家族や関和久の菊地幸次さん、中学校の校長先生と五人の先生方が夕

食を共にしながら、お互いの国のことなどを話し合いました。

翌二十三日は中学校での校内文化祭に参加し、二人の国の紹介をかねたあいさつのあと、モチつきや峠節を生徒と共にを行い、日本の学校のことを勉強しました。

生徒も世界への目がまた広がったと喜んでいました。

夜は青年学校の方々がお別れパーティーを開き、海上村長やアメリカ人英語教師のパメラさんも参加し、お互いの国の歌などを教え合うなどして、楽しく交流しました。



(モチつきは初体験?)



ありがとうコーナー



中学校に

十万円寄附

このたび鈴木石油店(鈴木勝さん)が、白河市飯沢に軽食喫茶「キ

ヤッスル」開店祝いとして十万円を寄附されました。ご芳志に対し有効な使途をと検討した結果、中学校図書整備資金として活用させていただきますことになりました。ありがとうございました。

ゴルフクラブは

二小に：

去る十一月二日(日)新白河ゴルフクラブにおいて、泉

部(五万円)が、今回は、泉崎第一小学校(橋間校長)の図書等の整備資金として寄附されました。

ありがとうございました。

崎ゴルフクラブ(会長成沢俊雄氏)のチャリティーコンペが開催されました。

チャリティー寄附金の一



今月の納税

・固定資産税(第4期)
1月31日まで



歳末助け合い
福祉寄附

去る十二月十五日、婦人

団体連絡協議会副会長の本柳百合子さん、菊地美津子さんが来庁し、歳末助け合いに役立ててと三万円の福祉寄附がありました。

これは婦人団体連絡協議会が毎年文化祭の一環として行っているリサイクルバザーの収益金の一部ということでした。ありがとうございました。

話 題

話 題

話 題

雪のまうなか

元気にパレード

去る十一月二十六日(水)、泉崎幼稚園児による防火パレードが行なわれました。

この日は風が冷たく雪のまう寒い日でしたが、寒さを吹き飛ばす元気なパレードに沿道につめかけた皆さま

この日は風が冷たく雪のまう寒い日でしたが、寒さを吹き飛ばす元気なパレードに沿道につめかけた皆さま



(寒さにまけず頑張って演奏)

駅前自転車置場に
けい光灯を設置!!

自転車の盗難防止と青少年健全育成のため、駅前自転車置場にけい光灯を設置し

自転車の盗難防止と青少年健全育成のため、駅前自転車置場にけい光灯を設置し

ました。

しかし、けい光灯を設置しても施錠をしなくては盗難は減少しません。

自転車から離れるときは必ず鍵を掛けて下さい。



(かわいい演技におおよろこび：ケアハウス)

～一足早いクリスマス～

特老「ケアハウス」

お年寄りにリプレゼント

|| 泉崎幼稚園児 ||

心の深さが感じられます。

十二月十九日ケアハウス泉崎(施設長大森栄)に泉崎幼稚園児約五十名が訪問し踊りや歌を披露しました。九十一歳を最高齢とする入所者の方々は自分の孫ひ孫を想い出してか感激の余り涙を流していました。ケアハウス泉崎は四月に開所以来多数の慰問、研修、視察等で大賑い、高齢化社会に対する関

十二月十九日ケアハウス泉崎(施設長大森栄)に泉崎幼稚園児約五十名が訪問し踊りや歌を披露しました。九十一歳を最高齢とする入所者の方々は自分の孫ひ孫を想い出してか感激の余り涙を流していました。ケアハウス泉崎は四月に開所以来多数の慰問、研修、視察等で大賑い、高齢化社会に対する関

ペッタン

ペッタン

もちつき大会

十一月二十三日、保育所園庭において「もちつき大会」が行なわれました。

豆しぼりのはちまきとエプロンをつけ、自分のからだ程ある大きな杵を両手で抱えペッタンペッタンともちをつく姿は、なかなか勇



(たのしいネ!：もちつき大会)

しいものでした。

もちつきで汗を流した後

は、みんなでテーブルを囲み会食です。けんちゃんもち、

納豆もち、あんこもち、おろしもち、きなこもちとメ

ニューも豊富です。自分たちでついたおもちを口いっ

ぱいに頬張り満足そうな顔。

子どもたちは、手づくりの味を十分味わい家族と共にすばらしい思い出をつくることができました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

最後に、保ゴ者のみなさま御協力大変ありがとうございました。

泉崎一小

思い出をたくさん！
楽しさもたくさん！！

みんなで つくり
みんなで 参加し
みんなで もりあげ
みんなで 力を合わせ
みんなで 楽しもう

全校生全員がひとつにな
って楽しむ、泉つ子祭り。
各学年のアイデアいっぱい
の手づくりの商品がなら
び、いらっしやい”の声が
とびかう出店。この日のた



(仮装行列でオープニングショウ)

めにと六年生が智恵をしぼ
ったゲームコーナーでは、
笑い声をはじける。ほかほ
かのおでんをほおばる顔の
うれしそうなこと。

仮装行列で始まるオープ
ニングショー。そして、フ
イナーレは、全校生による
ジッズダンス。
ブラボー！！泉つ子祭り。
十一月三十日は最高でした。



(おいしそう：“おでんです”)

泉崎一小

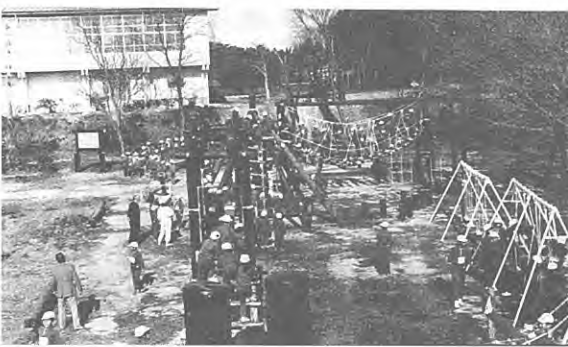
大きなプレゼント
ありがとう

ありがとう

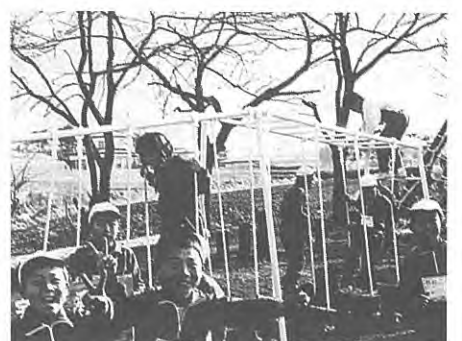
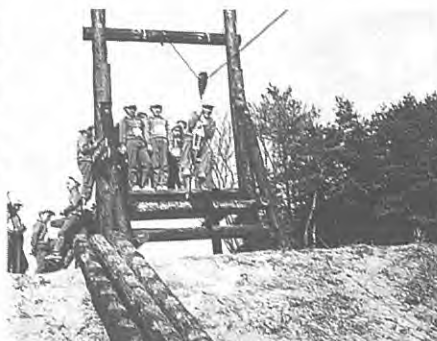
待望のアスレチ
ック施設が完成し、
去る十二月二十日
(金)に落成式が行わ
れました。テーブ
カットのあと、児
童代表が使い初め
をし待ちに待った
アスレチックがオ
ープンしました。

村長、教育委員長
の祝辞があり、大
野友幸君が児童を
代表してお礼のこ
とばを述べました。
式のあと全児童が
それぞれの遊具で
喜々として体力づ
くりにとりくんで
いました。

五月の先進地視
察にはじまり、落
成を迎えるまで五
ヶ月、百五十余日
に及んだ作業でP



TA会員もこの上ない喜び
でした。体力づくりはもち
ろん、児童どうし親子どう
しが集りふれあう場として
「つどいのひろば」と命名
されました。各施設は、ピ
ラミットのぼり、宇宙わた
り、おさるのぶらのこなど
児童が名付けたもので、全
員で建設にとりくんだ活動
の成果として高く評価され
ています。



泉崎一小

豊かに実のる

読書教育

毎年秋に、読書感想文全国コンクール（毎日新聞社主催）が開かれます。

青柳君の作品は、西白河地区予選で特選に選ばれ、郡代表として県コンクールに応募されました。そして、四百八十点（小学校の部）の中から見事特選（三十点）に選ばれ、しかも、中央審査会に送られる十二点の中にも入りました。

しかし、読んだ図書が、このコンクールに合っていないという理由で、中央審査会への応募は見送りになりました。非常に残念なのですが、今年は、県を代表して中央審査会に送られるまでに、書く能力が高まったことに満足したいと思います。



読書感想文全国コンクール県特選作品

大五郎は天使のはねをつけた

泉崎一小 三年 青柳 崇

大五郎は、奇形ザル。さかなのひもののようになかだ、つけねからまったくない後足、手首までつきりない前足、一本もない指、体重三百グラム、身長十七センチ…大人の手の中にすっぽり入ってしまうほど小さい、小さい大五郎。

さし絵を見たら、黒いビー玉のような目玉をギョロギョロさせて、めんぼうからミルクをすっている。なんだか、大五郎のかなしそうなき声が聞こえてきそうです。

河口湖へりよこうに行ったとき、よその人が大五郎を見て、「なんてきたないサル」「なんてきたないサル」

といったのです。その時、大谷さんは、するどいはものでさされたようにくやしかったといっています。ぼくは、その人にいつてやりたかったです。「大五郎は、いつもおふろに入っているからきれいだ。大五郎をこんななかだにしたのは、人間なんだ。自分がすきでこんななかだに生まれてきたのではないのです。どうして思いやりがないのですか。」と。

「人間の作った公害のせいとなったのが大五郎なのだ。」と大谷さんは、いつています。人間は、自分たちのことばかり考えているので公害をつくってしまうのでしよう。大五郎のような動物たちのことを考えてあげなければならぬのです。「生あるものの命のとうとき。」を大切に、大五郎を五人の家族が協力し、

そだてていった大谷さんの家族は、とてもりっぱだと思えます。ただかわいがるだけでなく、大五郎に生きることを教えているからです。

しんでしまうかと思っていた大五郎が、だんだん元気になる、自分にどこへでもいけるようにと、とっくんをはじめました。「母さんのところへおいで。」

「大五郎、大五郎、もう少し。」とうとう手も足もないのに、ころがることができるようになったのです。大五郎は、自分のことを、人間だと思っていたようでした。プレゼントをほしがったり、レビをつけたり、大谷さんの子どもになりきっていたのです。それなのにー。

「しっかりと、大五郎、大五郎。」

家族のみんながさげんでも、とうとう目をあけませんで

した。二才四か月で、大五郎は、のうまく炎になってしんでしまったのです。大五郎を、家族のようにかわいがっていた大谷さんの家族は、自分の子どもが死んだようになしかったと思います。

人間は、公害をつくってはいけません。公害は、動物ばかりでなく、人間の命さえもうばってしまうことがあるのです。だから、どんなことがあっても、公害をつくらなければいけません。

いっしょうけんめいに生きたから、自由にどこへでもいけるように、天使のはねをつけてもらった大五郎を、わすれないために。

こんな予兆に要注意

ボケ・寝たきりが食事で防げた

“老人食常識”には危険な間違いがいっぱい

東京都老人総合研究所研究室長 松崎 俊久

■血圧を急激に下げると一時的にボケることがある。

高血圧の治療をする場合、急激に下げるとボケることがあるので注意したい。

アメリカに住んでいた七十歳の日本人

老人が、帰国を控えて、短期間に血圧を下げてしまった。上が二〇〇くらいあったのに、降圧剤を飲んで三週間ほどで一〇〇にしてしまった。

一〇〇といえば、普通の人にとっては正常な数値である。

しかしその老人は、

二〇〇という高血圧の状態に、体がすっかり慣れていた。本来なら、まず一八〇くらいにまで下げて一〜二か月慣らし、その後ゆっくりと一六〇くらいまで下げることを目標にすべきであった。

急激に血圧を下げた結果、脳への血流量が減って、脳の働き

が低下してしまったわけである。その老人は、足腰が立たなくなつたばかりか、子どもの名前まで忘れてしまったのだ。すべてに対して、反応が鈍くなったので、家族はあわてて病院へ連れ戻し、帰国を一時延期させたという。

一時的な現象なのですぐにボケ症状は治るが、老人の高血圧を治療するときは、特にゆっくり下げる配慮をしなくてはならない。降圧剤を飲むときは、定期的に医師のチェックを受けるようにしたい。できれば薬を使わずに、時間はかかっても食事

で下げてやるほうが望ましい。塩分のとりすぎをやめ、太りすぎを解消するだけで、血圧は三〇くらい簡単に下がる。塩分過剰と肥満をそのままにしては、降圧剤さえ効きにくくなってしまうのだ。そのために医師は必要以上の量の薬を出すようになり、副作用の恐れも出てくるわけである。

■低血圧の人は、寝たきりやボケになりにくい

低血圧を嘆く人に、私は「お

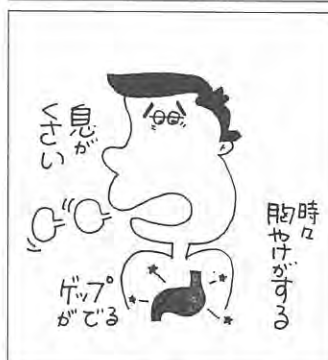
めどう」と言うようにしている。低血圧者は長生きの切符を半分手に入れたようなものだからである。人間は、年齢とともに高血圧傾向を示す。だから老人になるほど塩分を減らして、高血圧対策を心がけなくてはならないのだ。若い頃から低血圧の人は、年齢とともに多少上がったとしても、高くなりすぎる心配はない。それだけ、脳卒中によるボケ・寝たきりからは遠いところにいるのである。

低血圧タイプには、朝起きられなかったり、

国保の窓

家族の健康総点検

こんなことがあったら、保健婦や医師に相談してみましょう



健康の泉Ⅱ

午前中はなかなか元気が出なかったりする人が多い。本人もつらく、見ようによっては、ものぐさで怠け者の印象を与えるかもしれない。

低血圧で、特に胃下垂の人は、心して栄養バランスに気を配らなくてはならない。栄養状態が悪いと、肺炎にかか

る恐れが出てくるからである。

低血圧という天性の好条件を生かすためには、積極性が必要だ。低血圧者は、とかく消極的になりがちだから、自己変革に努力しなければならぬ。ただし、夜になると血圧が上がって元気になるからといって、夜ふかしや深夜までの仕事は避けるべきである。生活のリズムを乱すことは、健康の大敵だからだ。

低血圧者の中には、血圧を上げるためと称して塩分を過剰にとる人がいるようだが、これはナンセンスな行為である。塩分は単に血圧に影響するだけではない。血管壁を弱くするなど悪影響が大きいのである。せっかく条件のよい体に恵まれたのに、無理に悪い方向に導くような行為は、お

ろかと言うしかないだろう。

■七十歳過ぎてても遅くない！食事を改めれば大半が防げる

ここで、私は「寝たきりやボケの原因は食生活の間違ひにある」と強調しておきたい。寝たきりやボケの引き金になる脳卒中、骨関節系の疾患は、誤った食生活によって起こることがわかっていくからである。

日本型のボケ・寝たきりでは、脳卒中と骨関節系疾患が原因の大半を占めていることを、既に説明した。ということは、この二つの原因を取り去れば、ボケ・寝たきりの大半が防げるとい

こともできる。

つまり、脳卒中にならない食事、骨関節系疾患にならない食事に改めればいいのだ。幸いなことに現代の医学・栄養学からすれば、それは難しいことではない。要はこれまでの間違ひを正して、後の章で説明する正しい食生活を身につけていただくだけなのである。

すでに七十歳を過ぎて、老人まっただ中にいる人でも、決して遅すぎることではない。今日からの食事や生活の仕方に気を付けて、ボケや寝たきりにつながらる重大な病気を寄せつけないようにしていただきたい。

現在、なにかの病気があって寝たきり起きたりを繰り返している老人や、最近なんとなくぼん

やりしてきた老人——ボケ・寝たきり予備軍——をかかえている家庭も、あきらめるのはまだ早い。周囲の人の、老人に対する接し方や、扱い方いかんで、ボケ・寝たきりの入り口から連れ戻せる可能性だってあるのだ。

中年や老人が、間違った食生活を改めたら、ボケ・寝たきりは今の半分以上に減るだろうと私は考えている。

■六十歳過ぎて、血圧の上が一七〇を超えているのは危険

中年からの高血圧は、ボケ老人、寝たきり老人への通行切符を手に入れたに等しい。

すでに高い人は、さっそうと低くする努力をしていただきたい。六十歳の声を聞くまでは、せめて上の血圧が一四〇を超さないように努力したいものだ。

年齢に関係なく、血圧の安全ラインは、上が一六〇—一七〇どまりである。百歳老人の血圧は、平均で上が一六〇、下が八〇を保っていた。長生きできる裏には、それだけの理由があるのだ。

血圧は、血管の弾力性を表している。中学時代から高血圧がつづいたとしよう。血管は、高い圧力で流れてくる血液によって内壁をしじゅう削られていく状態がつづく。削られては、コレステロールを動員して修理し、また削られる——こんな繰り返しをしている。

何十年もたつと、血管の修理能力にも限界がくる。内壁が繊維化してゴワゴワの状態になつてしまふのだ。繊維化した血管はもろくなる。

冬、トイレへ行った拍子に、血圧が急上昇して血管がプツンと切れたり（脳出血）、荒れた血管に血栓が詰まって、血液の流れをふさいだり（脳梗塞）する。ここからお決まりのボケ老人コース、寝たきり老人コースに分かれる。最悪の場合は死亡、軽症でもなんらかの後遺症が残る——どちらにしても、ろくな結果は得られないのだ。

弁護しようにもできないのが高血圧と言っているだろう。これだけは、生きているかぎり気をつけていただきたい。

一部の病氣的なものを除けば、食塩のとりすぎをやめ、肥満やストレスを避けるだけで、血圧はたいてい正常値を保てる。食塩を一日一〇gに抑えようという指導がされるのは、そのためだ。日本人の平均は一二—一三gだから、まだとりすぎの傾向にあると言っているだろう。アメリカでは、5gを目標準値にしている。

そもそも人間は、調味料としての塩分をいっさい使わなくても、食品そのものに含まれるものだけで、充分生きていける。塩味はお菓子やアルコールと同じで、食生活に楽しみやおいし

さを増すためのものでしかない。毎食漬け物を食べる、味噌汁を飲む、というのはおかずが足りない証拠で、食費をケチっていると受け取られても仕方がないだろう。ましてや「塩からいものが好き」なんて、恥ずかしくて大きな声では言えないはずである。

塩分だけは、思い立ったが吉日、一刻も早く減らしてほしいものである。

（次号に続く）



よろしく

民生委員改選

民生委員一斉改選に伴い十二月三日、役場に於いて民生委員の委嘱状交付式が行なわれました。新任民生委員二人、再任民生委員十四人の合せて十六人の民生委員が委嘱されました。

任期は昭和六十一年十二月一日から六十四年十一月三十日までの三年間。



(どうぞよろしく：民生委員の皆さん)

ごくろうさまでした

任期満了に伴い長年民生委員として社会福祉にご尽力下された二人の委員が11月30日をもって退任いたしました。



◀青柳 勉
(八斗蒔)



▶小針善治
(居平)



お知らせ

●書初展の案内

昭和六十二年の年頭を飾る書初展は次の要領で開催します。小中学校の学童ばかりでなく、村民一般からの出品を歓迎します。

記

期間：一月十四日から十六日まで、三日間

会場：泉崎村中央公民館

日程：作品搬入は十三日から十四日午前九時まで

陳列 十四日午前中

審査 十四日午後一時より

公開 十六日午後四時迄

課題：小中学校は学校で定めた県共通のもの、一般

成人及び高校生は自由。

用紙：小中学生は学校指定

の書初用用紙、高校生及

び一般成人は半折仮巻、

色紙短冊などは台紙を付

けて展示し易く表装する。

感謝

●ピカピカの公民館です

村内の県婦人教育指導者研修会終了生で結成されている「いずみの会」(鈴木てい会長)のメンバー十人が十二月九日、公民館の清掃奉仕に精を出しました。特に館内の全部の窓がピカピカになったので室内が大変明るくなりました。以前にも障子張り、図書の修理とボランティア活動を積極的



(きれいになりました)

今年は卯年

ウサギは身近な動物で、いまでも野生のウサギをよく見かけますし、食肉用、毛用、毛皮用、ペットなどとして広く飼われています。また、昔からあるいろいろな物語にもウサギがよく登場しています。イソップ童話の「ウサギとカメ」や、日本の昔話の「かちかち山」「因幡の白ウサギ」などが有名です。

さてみなさんは、これらの物語に登場するウサギについてどんなイメージをお持ちでしょうか。

「ウサギとカメ」のウサギは、油断して昼寝をしてしまうので、自信家か、それともなまけ者か「かちかち山」はおじいさんのために敵うちをするので正義の味方になっています。しかし、それにしてもタヌキをだまして背中にやけどを負わせたりその傷に唐辛子を塗ったり、泥船に乗せたり、ちよつと残酷すぎます。因幡の

家庭教育ワンポイントアドバイス

あたりまえ のことを やれる人に

学校のテストの成績がよければ、そのまま人生の出世コースにつながる。勉強さえしてくれば、何もしなくてもよい。と、試験の成績のみにこだわる親がいる。また、仕事をさせるとき、しっかりと子供に言いつけることなく、「〇〇をやってくれない？」と、哀願する親も見受けられる。

人間には、成長の段階にふさわしい生活の標準（年齢に応じた身の処理、礼儀作法、仕事……など）がある。例えば、幼児は六才頃になれば、箸を上手に持て、紐の片結びができ、何

となく身支度できるようになる。また、小学校高学年ともなれば、自分の寝具をたたみ、部屋の掃除をし、食後の茶碗などを片付けることは、家庭の一員として当然のことである。

生活の標準をくずしたり、仕事を哀願したりしていると、子供は増長し、小生意気になってしまう。特に最近の子供は、働くことより遠ざかる傾向がある。年齢に応じた仕事を確保してやらせるようにしたい。

社会において、生活の標準となっていることを行うことは、あたりまえのことである。あたりまえのことを、あたりまえとしてやれるようになれば、勉強や仕事も、あたりまえのこととしてやれる人間になるのではない。

社会教育指導員 田崎富雄

『第四回大橋開 通記念駅伝大 会盛會に終る』

スポーツで健康・さわやか笑顔

十一月三十日(日)役場前スタートで支部10チーム、企業2チームの選手が10区間で熱戦をくりひろげました。女性選手の参加もあり又関和久支部では3チームを出場させた努力に感謝申し上げます。結果は次のとおりです。

第一位宿館（1時間29分18秒）第二位北平山（1時間29分52秒）第三位太田川（1時間31分32秒）宿館は3年連続優勝

しました。

※各区間第一位選手名

第一区溝井恒行、第2位佐川伸二、第3区今井岳志、第4区中目重男、第5区大森正一、第6区穂積広美、第7区大森光一、第8区西楨健一、第9区穂積正典、第10区田崎貴紀。

なお後援いただいた福島民報（白河支社）郷新聞店。支対協婦人団体連協。泉崎無線クラブ。泉崎建設協力会には多大の御協力を賜わり盛大に終了出来ました。と厚くお礼申し上げます。役員係員の皆さん又沿道での御声援ありがとうございました。次回の大会には各企業事業所の参加を希望致します。



「白ウサギ」は知恵を働かせてワニザメをまんまとだましたつもりが、皮をむかれて赤裸裸になつてしまっています。こうして見ると、ウサギに対するイメージはいろいろのようです。

生物学的に見ても、ウサギはなかなかしたたか者です。砂漠、草原、森林、高地、ツンドラなどあらゆる所に住むことができ、糞を食べて反すう（一度飲み込んだものを再び食べること）の代わりにする習性があります。また事典にはウサギの飼育は容易で、飼育箱は幅・奥行き六十センチ、高さ四十五センチあればいいという意味のことがでていました。なるほど、これが例のウサギ小屋の由来かとうなずいた次第です。

ウサギ年の今年は、国連の定めた国際居住年に当たります。貿易摩擦解消のためにも、内需を拡大してもっと住宅を作り、みんながゆつたりとした家に住めるようにしたいものです。

今月の行事

中央公民館

- 5日(月) 御用始め
- 8日(木) 青年教室
- 9日(金) 舞踊教室、ヨーガ教室
- 10日(土) ゆずりは学級
- 12日(月) 英語教室
- 13日(火) 書初展作品搬入
- 14日(水) 書初展陳列、審査、こども文庫
- 15日(木) 書初展、囲碁将棋
- 16日(金) 新年大会、青年教室
- 17日(土) 明日の親学級、舞踊教室、ヨーガ教室
- 19日(月) ペンクラブ例会
- 20日(火) 英語教室
- 21日(水) 婦人学級(生花)
- 22日(木) 公民館運営審議会、こども文庫
- 23日(金) 英語教室、英会話講座、青年教室
- 25日(日) 高砂学級、舞踊教室、ヨーガ教室
- 25日(日) 鳥峠少年教室(スケート教室) 卓球大会

保 育 所

- 27日(火) 婦人学級(手芸)
- 6日(火) 保育開始
- 9日(金) 新年こども会
- 誕生会
- 7日(水) 21日(水) おべんと
- うの日
- 16日(金) 避難訓練
- 28日(水) 30日(金) 身体測定

幼 稚 園

- 12日(月) 昭和六十二年度入園予定児親子面接会
- 16日(金) 第三学期始業式
- 19日(月) 21日(水) 身体測定
- 24日(土) 園内美化の日
- 28日(水) 第一回縄とび大会
- 30日(金) 誕生会
- 31日(土) 避難訓練

泉 崎 一 小

- 10日(土) 第三学期始業式
- 13日(火) 14日(水) 16日(金) 身体測定

- 19日(月) 20日(火) 宿泊訓練(那須甲子少年自然の家) 5・6年生

泉 崎 二 小

- 10日(土) 始業式、方部子ども会、大掃除
- 19日(月) 20日(火) 宿泊訓練(那須甲子少年自然の家) 5・6年生
- 24日(土) 避難訓練
- 27日(火) 授業参観

中 学 校

- 10日(土) 第三学期始業式
- 12日(月) 14日(水) 16日(金) 教育相談(6時間)
- 19日(月) 風疹予防接種(3年女のみ)
- 16日(金) 第5回校内研修会
- 23日(金) 三年期末テスト(2月3日迄)
- 31日(土)

おいおい
おめでた
おくやみ

□結婚おめでとう
ございます。

- 新郎・新婦 住所
- 北住 昌洋 北平山字ミト
- 幸枝 内九十四番地
- 小林 長市 北平山字薬師
- 喜美子堂四十一番地
- 田崎 良次 関和久字太郎
- 智子 ケ岡一番地
- 田崎 育男 関和久字愛宕
- 益美 町七十五番地

□出産おめでとう
ございます。

- お子様名 父名
- 北平山字新田三十五番地
- 磯貝 邦彦 春彦
- 泉崎字雷十五番地
- 木村 巧 覚
- 関和久字庭渡神社五番地
- 大澤 麻理衣 光浩

■謹しんでお悔み
申し上げます。

- 泉崎字上孤山二十四番地の四
- 中畑 キチ 八十七才
- 太田川字金山三十四番地
- 小磯 静 七十三才
- 関和久字如信澤二十三番地
- 佐藤 ミサヲ 七十四才
- 関和久字瀬知房後三十九番地
- 円谷 サタ 八十八才
- 関和久字愛宕町七十五番地
- 田崎 百代 八十四才
- 太田川字金山三十四番地
- 堀田 トク 七十八才

